

JIAM20周年を迎えて 出会えた縁は今も続いて

埼玉県さいたま市浦和区健康福祉部支援課 課長 高橋 桂子

はばたけ女性リーダー研修を振り返る

研修の参加者は47人で、平成16年7月7日から14日までの間、開催されました。

研修が開催された平成16年は、さいたま市が政令市となり、区制が施行された2年目にあたり、私も桜区役所福祉課管理係2年目を迎えた時でした。

研修に参加する前、上司からは見識を高めることに加え、「共に地方自治を語れる仲間に出会う事で、本当にさいたま市民の役に立つ職員となれる。研修中は講義がなくても部屋に閉じこもらずに研修仲間と一緒に過ごさない」という指示がありました。

こうした意識のもとで受講した研修の中で、特に岡澤憲芙先生の講義は今でもはっきりと覚えています。地球儀を持って教室に入って来られた事が印象的で、その地球儀をまわしながら話された「地球儀を回転させると日本がどこかわからなくなる。時には自分の人生をインド洋から見たら新しいイメージーションが湧くのではないかと」「時代は変わっている。常に時代に合った考えを持つように」と言われた言葉が心に残り、特に悩んだ時に、これらの言葉を思い出し、発想の転換を図って進んできたように思います。

また、グループ発表の時に1つのグループが発表に使ったパワーポイントが目新しく、画面展開の工夫、色彩の工夫に感動し、自分も作って活用したいと強く思ったものです。

研修後、桜区民生委員児童委員協議会と桜区福祉課が協働で取り組んだ「災害時安否確認台帳及びマップの作成活動」の記録を職場の職員や民生委員さんとでパワーポイントにまとめ、民生委員さんの活動を桜区内に広める手段として活用できた事は、研修に参加した成果だと思っています。

今も続く同窓会

「仲間を作れ」という上司の言葉どおり、講義の休みにも役所に戻らずに過ごすことで、単なる「研修同期生」ではなく「共に地方自治を語れる仲間」に出会う事ができました。研修最終日の前日に開催された懇親会では、すでに翌年の同窓会幹事が決定しています。

その後、同窓会の企画は同窓会参加者間で幹事市を決め毎年開催しています。来年度で同窓会開催は10周年を迎えます。

参加者数は多い年で20人。ここ数年は顔ぶれがほぼ固定化し、約15人の仲間に会える同窓会です。

同窓会は幹事市の企画に基づく観光と食を堪能し、夜は円陣を組み遅くまで情報交換を行う事が恒例です。

同窓会には、研修後退職をされた方も参加されています。現役同士の情報交換はもとより、退職された方からも経験を活かしたアドバイスをいただき、かつ退職後の暮らし方についてお話を聞く事ができるので、人生勉強にもなります。

同窓会の絆

平成23年3月に発生した東日本大震災の被害は、大槌町に住む自治体職員の友人にもおよび、津波で身内の方を亡くされました。しばらく連絡が取れなかった友人から、「暗くて寒い、出来たら電池・

カイロを送ってほしい」との依頼が来ました。関東では電池が品切れでしたので、同窓会仲間に電池がないか声をかけました。

電池を依頼した関西の仲間から、「被災地の需要のため送られているので、品切れのお店が多い」との電話がありましたが、いくつかのお店を回って確保していただき、友人に送る事ができました。友人からは、「久しぶりに灯りがついた」と嬉しそうなメールが届きました。

その年の同窓会は、東日本大震災について話し合いました。上牧町の仲間からは保健師の職を活かし、単身被災地に出かけたとの報告がありました。私は、大槌町の被害状況や、ライフラインが遮断された時にあったら良かった物や役に立った食品について友人から聞いた事を報告しました。それは、自分の地域を取り巻く情報を知る事ができる新聞と、おつゆも飲めるレトルトのおでんであったと話しました。

災害時は市民の方を最優先で支援しますので、職員は後回しになります。「大槌町の友人から送ってとの連絡が入ったのも災害があってから随分あとでした」と話すと、仲間の1人が、「私はお米を作っているから、連絡して」との言葉が出たのをきっかけに、仲間が全国にいるのだから、災害時、衣類や食料等が不足し困った場合は、遠慮せず連絡を取り合っていこうとの意見が出され、参加者全員が賛同のもと、同窓会仲間が災害時には協力し合う「災害協定」を結びました。

災害等のニュースが報道されると「大丈夫?」とのメールが届きます。

同窓会の回を重ねる度に絆が深まっていくと実感しています。



同窓会で、みんなが口にする言葉があります。「出会えて良かった」「全国的なネットワークができた事は人生の宝物」「仲間を通じ多くの先進情報を得る事ができた。またよろしく」「また1年後の再会まで元気に頑張れる」etc.



研修終了後も交流が継続され、仕事に対する意欲の向上や、今抱える問題解決のヒントが得られるだけでなく、人として成長できる同窓会だと思っています。

その同窓会の一員でいられる事に喜びと誇りを感じています。

年度	幹事市町
17	大阪市
18	大村市
19	吹田市
20	上牧町
21	高知市
22	朝来市
23	さいたま市
24	宮田町
25	織田町



平成20年度同窓会 みんな、ちょっと若い!